

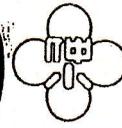
平成 26 年度

NO. 2

4 月 30 日 発行

5 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

安全で安心できる環境に

校長 澤井 英子

新緑が美しく、さわやかな風が薫る季節となりました。子供たちは、新しい学年・学級にも慣れ、元気に生活しています。

【遊具置き場の改修】

体育館前にある鳥小屋を一輪車や竹馬が置ける外倉庫に改修しました。

一輪車や竹馬は、今まで、東側昇降口に置いてあり、一輪車30台が置けるラックは、広い場所が必要でした。

児童数が増え、毎年靴箱を増設している昇降口で、子供たちが校庭から入・退室するときに、一輪車が子供の体に当たり、ラックから落ちたり、竹馬が倒れたりしているの、怪我をするのではないかと、毎日ハラハラしていました。

一輪車は、雨には当てられない遊具ですし、「仲っ子ひろば」の方々がいつも修理し、整えてくださっている大切な物ですので、屋根のある小屋が必要です。

また、鳥小屋は、金網や壁が破れ、野鳥が自由に出入りしており、鳥インフルエンザが心配される現在、鳥小屋として使用するためには、大規模な補修予算が必要で、無理な状況でした。

そこで、鳥小屋を再利用することにしました。仕切りや棚を取り外し、床面を平らにし、不要なドアも外し、便利な倉庫ができました。

これで、昇降口がぐんと広くなり、子供たちの動線を確認でき、毎日安心して過ごせます。

また、この倉庫と平行して一輪車の練習用に、8本の金属柵を設置します。この西昇降口付近を一輪車遊びのテリトリーとします。

これで、ボール遊びと一輪車が交錯する危険もなくなり、どの子も安全で安心して過ごせるようになることと期待しています。

【チャレンジコーナー】

昨年度1年間、校庭南端に建てられていた氷川台第二地区区民館学童クラブが、引っ越し、校庭が元に戻りました。

砂場は、移設した物をそのまま使うので、平らな土地が増えたような気がします。

昨年度、全児童対象の体力テストでは、瞬発力や、敏捷性にどの学年も課題があり、日常的に運動に取り組み、体を動かせる場を作る必要があります。

そこで、この場所を、誰でも体力作りにチャレンジできるコーナーにしようと、担当が頭を絞っています。どうぞお楽しみに。

【5年生の全員面接】

今年から都内全部の学校で、スクールカウンセラーが5年生全員と面接し、子供がスクールカウンセラーに相談しやすい環境を作ることになりました。

これは、いじめ等の問題行動を未然防止し、早期に対応することを目的としています。

本校中里スクールカウンセラーが、休み時間や放課後に5人ほどのグループで面接をします。詳しい日程等につきましては、別紙にてお知らせします。

【保護者の皆さんに助けられて】

不審者の侵入に備えて、受付に「安全安心ボランティア」ができ、登録人数も保護者の1割以上になりました。受付だけでなく、休み時間の児童の見守りにもご活躍いただいています。

また、放課後の安全を守るために、全家庭による地域パトロールも定着していますが、今年からさらに、朝のパトロールも始めてください。登下校時の事件が心配される昨今、本校保護者の皆様のご協力に、本当に感謝申し上げます。